

2021.2.12

# 支 部 通 信

No 79



長野県電気工事業工業組合長野支部  
合同会社 長野電気引込工事センター

## 目 次

|   |                     |                      |         | ページ      |
|---|---------------------|----------------------|---------|----------|
| 1 | <b>Top Message</b>  | 支 部 長                | 大田 敬壹   | ----- 1  |
| 2 | ご 挨拶                | 中部電力PG(株)<br>飯山営業所所長 | 中條 兼治   | ----- 2  |
| 3 | フ リ ー ト ー ク         | 支 部 長                | 大田 敬壹   | ----- 3  |
|   |                     | 副 支 部 長              | 高津 和忠   | ----- 5  |
|   |                     | 副 支 部 長              | 伊藤 善宣   | ----- 6  |
|   |                     | 須 高 地 区              | 湯本 和彦   | ----- 8  |
|   |                     | 須 高 地 区              | 中澤 文貴   | ----- 9  |
|   |                     | 長 野 東 地 区            | 月 岡 匠   | ----- 10 |
|   |                     | 長 野 西 地 区            | 林 純 市   | ----- 12 |
|   |                     | 更 埴 地 区              | 小 林 学   | ----- 14 |
|   |                     | 更 埴 地 区              | 渡 邊 学   | ----- 15 |
|   |                     | 中野・飯山地区              | 村石桂太郎   | ----- 18 |
|   |                     | 中野・飯山地区              | 玉木 新二   | ----- 18 |
|   |                     | 長 野 東 地 区            | 山 口 忠 幸 | ----- 19 |
| 4 | 電 気 会 館 ス タ ッ プ 紹 介 |                      |         | ----- 20 |
| 5 | 編 集 後 記             | 総 務 委 員 長            | 町 田 幸 司 | ----- 21 |

(敬称略)

### ♪ 表紙写真 ♪

#### 「飯山市上町区道祖神祭り(どんど焼き)」

2021. 1. 19 正午 千曲川河川敷

例年は夜間盛大に、ババ(火元)で点火した藁束を振り回した子供達との攻防戦を経て、高所作業車2台を稼働させて製作した大きなジジを焼き上げるが、今年はコロナの感染防止も考慮して、昼間、かなり規模を縮小して行った。

写真撮影：高津 和忠 様 (上町区長)

# 花言葉は「忍耐」 & 「困難に打ち克つ」

～ ヤドリギを飾って～



支部長 大田 敬壹

冬枯れの野へ行くとブナなどの落葉高木の枝に、球状の青々と茂る植物を見かけます。それがヤドリギ(宿り木)です。木々の枝に寄生する植物で、発芽から最初の葉が開くまでに3年半もかかり、冬には宿主の木が水を吸い上げないために自らの葉に蓄えた水分で厳冬を生き抜くそうです。そこから花言葉は「忍耐」・「困難に打ち克つ」になったようです。その為か新型コロナ禍で縁起を担ぎ、ヤドリギを買い求める人が増えているそうです。またヨーロッパの特に北欧では、冬の厳しい寒さの中でも青々しているヤドリギが生えている木には、神が宿っていると考えられていて、様々な伝説が生まれました。その一つが、冬になると葉を付けて耐えるヤドリギを頼って妖精が森から移り住むといわれ、クリスマスに各家が玄関に飾るそうです。またヤドリギの下ではキスが許されるとの言い伝えもあり、人気映画「ハリー・ポッター」にも登場したそうです。(信濃毎日新聞・斜面参考)

改めて、新年のご挨拶を申し上げます。また、平素は長野県電気工業組合長野支部並びに長野電気引込工事センターの活動・運営に暖かいご指導とご理解を賜り、心から御礼を申し上げます。また、会員の皆様からは、新增設等の引込工事の依頼、中部電力様からは引込線点検改修工事等のご発注を頂き、改めて感謝を申し上げます。

昨年は新型コロナ禍によって総会や行事等すべての形式が変わる大変な一年でした。その間、引込センターでは中部電力様と全日電工連様のご推薦により「経済産業大臣表彰」を受賞など嬉しいこともありました。また電気使用安全月間ではその活動が報道等に取り上げて頂き、各地区の役員さんのご配慮、ご苦労にもより、今年も大きな成果を収めることができましたことに感謝を申し上げます。

その中、昨年の引込工事で再び「無断工事」が発生してしまいました。今年こそ「無断工事」の発生を無くしましょう。無断工事は絶対に禁止です。現場等で、緊急の要請や不測の事態が発生したときは、【 とにかく中部電力さん・引込センターに電話で相談して下さい!! 】 何とかなるだろうという甘えは許されません。

今年もコロナ禍で大変な年になると思いますが、よろしく願い申し上げます。



ヤドリギ



## ご挨拶

中部電力パワーグリッド株式会社  
飯山営業所長 中條 兼治

明けましておめでとうございます。会員の皆さまにおかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また、平素は、弊社事業に格別なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年の10月に飯山営業所長として着任いたしました中條でございます。微力ではございますが、長野電気引込工事センターさまのご発展のために精一杯ご支援させていただき所存でございますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

さて、弊社は昨年4月に「中部電力パワーグリッド」として新たな歩みを踏み出しました。営業所はこれまでと同様、良質な電気を安全、安価で安定的にお届けするという変わらぬ使命を全うするため、持てる力を最大限に発揮し、地域や行政などと連携しながら新たな時代の安定供給に取り組んでいるところでございます。

また、行政、地域産業、防災等のコミュニティへの取り組みにつきましても、中部電力グループのリソースを活用したお客さまサービスの向上、社会インフラをつなぎ進化させた地域へのサービスなどを通じ、「新しいコミュニティの形」を提供していきたいと考えております。地域にとってこれまで以上に「必要とされる存在」となれるよう取り組んでまいりますので、変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

現在弊社では、コロナ禍において、テレワークやリモート会議などを積極的に取り入れ、従業員自身と職場の感染予防に努めるとともに、より効率的な業務を実施するために「新しい働き方」を進めているところでございます。今後は、業務精度を低下させないことを大前提に、テレワークやフレックスタイムを一層活用し、通勤負担の軽減やライフタイムの充実、育児・介護時間の創出など、ライフワークバランスの向上も図ってまいりたいと考えております。長野電気引込工事センターさまにはご不便をおかけすることが無い

ように業務遂行してまいりますので、引続きご理解を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、「安全と健康」は何よりも優先し、人を幸せにする源であります。本年も会員の皆さまを始め、ご家族の皆さま、従業員の皆さまが無事故・無災害で元気に過ごすことができますようご祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。



# All Free Talk



## 旅は道連れ！世は情け！

～ 美しく蒼き草原 ～

支部長 大田 敬 壹

久しぶりに「ティータイム」の登場です。楽しみにしていた正月休み！終わってみれば、やっぱり回るメリーゴーランド！目の前に来たかと思えば、直ぐ立ち去った。

さて、ここからは昔々の物語。今は昔、「牛」と「鼠」が神様のところへ正月のあいさつに行った。その帰り道のこと。ほかの動物たちは、日が沈まないうちに村へ帰ろうと、ご馳走を食べて直ぐに帰って行った。のんびりと挨拶をしていた牛と鼠は、一番最後になってしまった。既にお日様が空の高いところまで昇っていた。片付けをすませて、来た時のように牛の背中に鼠が乗って門を出ると、神様が門の外まで出て笑顔で見送ってくれた。牛と鼠が住んでいるのは「隣り村」だった。

牛は、険しい山道を一步一步ゆっくりと下った。やがて深い森を通り抜けると、地平線の彼方まで広がる「美しく蒼き草原」の上に出た。そこには心地よい風が吹き渡り、草々が「光と影」の織りなす波間となって揺れていた。そしてその波間からは、一筋の道が、星の数ほどの「分かれ道」となって続いていた。

「来るときには気付かなかったけれど、こんなに広い草原を通ったんだね」と牛がいうと、鼠が「そうだね！おいらも驚いたよ」といった。そして「牛さん！あの向こうまで行ったことがある？」「いや、一度もないよ！たぶん誰も行ったことがないだろうな」

と牛がいった。暫くすると最初の「分かれ道」に来た。鼠が小さな鼻を空に向けてピクピクさせると「左の道が、来た道だ」そして「分った」と牛が答えてまた歩き出した。既にお日様が西の空から赤い夕陽となって牛と鼠の背中を照らしていた。それは、ちょうど村へ帰る道標のように長く真直ぐな影を落としていた。

そこから幾つもの「分かれ道」を抜け、どれくらい歩いただろうか。牛がいった「鼠ドン、去年は大変な年だったんだってね？」鼠が「そうなんだよ。人の社会では、やはり病があって半分の村人が村を離れ空き家になってしまった。お陰で食べ物が無くなって、おいらの仲間もたくさん村を出て行ったよ」「それは大変なことだったね。でも今年はどうなるんだろう？」と牛がいうと、鼠が「よく分らないけれど、やはり病が無くならないと・・・」といいかけて「おいらは、大地に生きてきたから分かるけれど、最近、大きな木がどんどん増えてきて、枝を伸ばし、葉を茂らせ、どんどん大きくなっていく。そのうえ大地の養分を争うように吸って、葉も落とさずに季節も忘れて生い茂っている。お陰で大地は日陰になるばかり。大地が痩せてしまった」「そうだよ。わしらも畑を耕しているから分かるけど、いくら耕しても食べ物は大きくなれない。いずれ大地が荒れて、大きな木々だって枯れてしまうのに誰も気付かない」と牛がいうと、いつの間にか牛と鼠は草原の外を歩いていた。辺りはすっかり暗くなり星明かりだけが牛の足元を照らしていた。

やがて東の空から大きな満月が昇り、牛と鼠の澄んだ瞳にその月影を映していた。牛と鼠がやっと小高い丘に辿り着くと、その向うに小さな村の明かりが見えてきた。そして最後の「分かれ道」にさしかかった。鼠が小さな鼻をピクピクとさせると「左がおいらの村だ。右が牛さんの村だね」そして鼠がいった「今日はありがとう。おいら一人では、とても神様のところまで行けなかったよ」というと「わしこそ、ありがとう。道に迷わずに、ここまで戻って来れたんだから」と牛がいった。

そのあと思い出したように牛がいった「そういえば、神様が別れるときにおっしゃったが、【もともと「光と影」は、一つの種から生まれた兄弟だった。だから互いに助け合い、励まし合ってきた。それがいつの頃からか、仲たがいをするようになって、もめ事が大きくなった。早く仲直りさせねば、どんどん離れてしまう】と。そして【今年も大変な年になるが、「旅は道づれ！世は情け！」じゃよ。助け合って生きるがいい。そうすれば、そこから新しい芽が出るじゃろう！】とね」

そして牛の背中から飛び降りた鼠がいった「牛さん！この次会うときまで元気でね！」

「鼠ドンもな！一緒にいて楽しかったよ！」そういつてから「そいえば、みんなが『猫

さんがいないね？』という話になって、それを聞いていた神様が【猫は、明日になってから、遅れて来るようじゃ。そのとき私が訳を話すと、随分とがっかりして帰るので、くいつの世も皆から愛される千客万来の縁起物の「招き猫」の役目>を頼んだんじゃよ。それで、すっかり笑顔になって帰って行った。私にはその姿が見える】とね」「・・・？」こっくりとうなずいた鼠が月明かりに消えるころ、再び後ろを振り向いて手を振った。そして真直ぐわが家へ向かって走って行った。また牛もわが家へ向かってゆっくりと歩き出した。（END）



昔々の物語は、ここでおしまい！ただ「今は昔」の話は、まだ続く。「時間」という風に舞い上げられた木の葉が、「時代」という草原に飛ばされて、「今」という波間に落ちた。そこは新型コロナ禍が、時代を翻弄し、そして走らせ、「光と影」の波間を一層深く分断していた。時代は繰り返す。そして今、人間は、再び「分かれ道」に立っている。時代が走るように目指す「大きなこと」は、本当に「正しいこと」なのだろうか？



先日、NHKの総合テレビで「プラタモリ 瀬戸内しまなみ海道編」を観ていたら、番組冒頭で「今治で何やるんだろう？」と不思議がるタモリに、アシスタントの女性が「自転車乗りますか？」と提案した。これに対してタモリが「それは火野さんがやる番組だよ」と苦笑して応じていた。ここでタモリの持ち出した番組とは、俳優の火野正平が自転車に乗って日本全国を走り回る、NHK-BSの「にっぽん縦断こころ旅」のことで、タモリの訪れたしまなみ海道は、言わずと知れた国内有数のサイクリングロードで、今治と尾道を結ぶ全長70kmのコースなのである。

前置きが長くなってしまったが、この「こころ旅」に刺激されて、昨年春、妻と二人で24段変速のロードバイクを購入して乗り出した。今は道路が冠雪してしまっているために中止をしているが、昨年の初冬までは毎朝早起きをして、30分近く市内の3コースを走り回っていた。

自転車に全く縁がなかったわけではない。中学から高校時代は、当時最先端の富士自転車「フラッシャー・シリーズ」に乗ってブイブイ飛ばしていた。今でも時折「昭和の懐かしシリーズ」のような雑誌にも登場するが、ダブルのヘッドライトは左右それぞれにだいたい橙色のウインカーと一体で、後部には3つ並んだ赤ランプがウインカー代わりに点滅して、つまり左右に光が流れる＝フラッシャー・・・って、おわかりかな？ 今にして思えば、ただでさえ本体の素材が「スチール」で重いのに、そうした余計な装備のお

かげでかなり重量が増していたハズ。それでも若い気力と体力に任せて、あちこちの野山を駆け巡っていた。

思い出に残るサイクリングは、昭和43年、中三の夏休み。飯山から開通直後の「アップルライン」を通して上田を目指し、菅平ダム建設用大型ダンプのまき散らす砂埃にまみれながら、真田から菅平への砂利道を汗だくで登った。当時の日記によると、上田から菅平までおよそ2時間半を要している。

あれから50年・・・とりあえず格好だけとは、mont-bellで揃えたヘルメットとサイクル・ウェアを身にまとい、ペダルにガチャッと密着するロード用ビンディングシューズを履いて、「ヨッコラショ」の掛け声と共に跨ると、「ワンの、ツ一の、ホイッサ！」 市内日替りコースに出発だ！

- ① 寺町コース：協立電機会長宅・越後屋電器商会社長宅・千曲電気設備社長宅などを巡りながらの、程よく起伏のある市街地循環コース。車両や通行人のかわしかたなど、ライディングの基本練習にもなる。
- ② 千曲川堤防周回コース：全行程平坦で、移ろいゆく自然を存分に堪能できるが、天候などにより、畑の様々な香りに悩まされる。小林電気社長宅前を経由する。
- ③ 里山西回りコース：長い上り坂が続く。ケイデンス（＝1分間にクランクが何回転したかを示す数値）を一定に保つ為の変速の練習にもなる。70～90回転が理想とされ、長距離を無理なく走れる。

今年も雪が融け次第、朝の走行は再開するが、その上今年「輪行」を敢行してみたい。前輪をバラしてキャリングバックに詰め、電車に乗って遠くの土地を走るのだ。コロナ禍で難しいかも知れないけれど、訪ねた峠道でも、苦勞して登り切った後は、爽やかな風を浴びて、「人生、下り坂最高！」と叫びながら、思う存分ブイブイしてみたい。



## 私 の 一 日

副支部長 伊藤 善宣

全世界でコロナウイルスの感染者が1億人にまで拡大した中、迎えた令和3年。支部通信の原稿締め切りが迫り、例年では旅行・地区行事・飲食会などの記事が書けるのに今年は何をと成人式の11日になって考えたが、誰も知りたくない（かもしれない）私の平日の一日を紹介したいと思います。

毎朝起床は3時半頃。テレビでBS12チャンネル現在は中国ドラマの「霜花の姫」を4時まで観て、4時から4時55分までBS11チャンネルで中国の時代劇。4時5

5分からフジテレビでめざましテレビを観て、5時30分頃から新聞に目を通し、6時から朝食、6時半頃家を出て、6時45分には会社に出勤しています。18時頃まで勤務をして18時半頃家に帰宅しています。

我が家では12月頃から外壁・樹木等にイルミネーションを20数年前から毎日成人の日まで飾っています。今年はコロナ禍の中、医療に従事している皆様に敬意を表し、全体をブルーで統一しました。18時半より風呂に入り全身の菌を洗い流し、19時より食事、晩酌はビール1本・酒1本。昨年の11月末頃までは週に1回程度権堂村通いをしていた。12月は1回だけと今までの人生の中で初めてであった。しかし、こうして毎日妻・長男の嫁・孫娘・メス犬の4人のコンパニオンに囲まれて飲むのも良いものではないかと…。

睡眠時間は40数年間6時間か3時間と決めており、21時半頃には就寝する毎日を送っています。

今日は成人式という事でテレビを観ていると各県・各自治体によって中止または延期。実施している所は感染対策をしっかりとって行われていました。自分の成人式は東京でアルバイトをしていた為、長野の地元の式を欠席。「一生に一度の式」は体験できませんでしたが、当日赤坂プリンスホテルで東映の新年祝賀会にボーイとして参加した事は、一生の思い出となりました。



成人式の日には、昔は決まって「どんど焼き」が行われたものです。今年は地区の役員で協議の結果、中止という回覧が来ました。感染拡大を恐れての事ですが、こういう時こそ「どんど焼き」を行う意味を考えて、実行して欲しかったと思います。隣の地区では例年通り行うという事なので、門松・しめ飾りを持って行くつもりです。行事を中止・延期する事は役員にとっては楽ですが、会員からしてみれば怠慢だと勘違いされるのでは…？

ちょっとした愚痴となってしまいました。





以前から、機会があればいつかは…と気に留めていた富士登山。もう2年前になるのですが行って来ました。世界遺産に登録されたというのがありますが、割合に周囲の人が登っている事に刺激を受けたのが大きかったと思います。『日本人なら日本一高い所へ行かずにどうする』を大義名分にして、腹は決まりました。

目的は登頂ですので行き方にこだわりは全くなく、バスツアーコースに乗る事にしました。日程は、お盆のピークが過ぎてからに。ニュース等で登山道の渋滞を見る度に、あの中には入りたくないと決めていました。

5月に申し込み、決心が揺らぐ事もなく当日を迎え、早朝バスに乗り込んで一路山梨方面へ向かうと、昼前には五合目の富士吉田口に到着しました。天候も良く、地元のガイドさんの話によると、長野県民の登頂率は98%で他県民よりも遥かに高いとの事。何やら高地民族と言われているような感じでしたが、悪い気はしませんでした。やや緊張気味の中、昼食もそこそこにレンタル予約しておいた登山靴やリュック等を受領して、身支度後の11時30分、いよいよ登山開始です。

このツアーの参加者は20名程度で、半数は女性でした。小学生連れ親子や私より年配の方も多く、それだけでも安心感を覚えました。六合目までは道も広くハイキング気分で行けますが、そこから上はやはり登山です。急な坂とつづら折りの連続に変わります。これも八合目までなんだとの思いで、一步ずつ息を切らしながら高度を上げていくわけですが、意外に早く七合目に着くのです。皆で「ここまでもう来たか」と元気になりましたが、更に登って行くと『本七合目』とか『元七合目』なる表示がいくつも現れるので、あれは迷惑表示だ、と全員の意見。ペースは速くなくても長時間こんな急坂を登った事はなく、足には結構来ます。吐きっぽいかなあ、と感じた頃に山小屋のある八合目にやっと到着しました。

16時30分に夕食で即仮眠。日付が変わり午前1時には出発のスケジュールのため、窓辺で夕陽を眺めながらのコーヒータイムって、ここにはないらしい。仮眠は床二段の上へ8人並びなので枕が八つ。でも全部くっ付いてセットしておるので、肩幅のない人でないと絶対に眠れない。ひと晩くらい寝なくても死にやせんと、私は松代から参加の方と屋外に出て時間を潰す事にしました。

それにしても八合目からの眺めは素晴らしかった。河口湖と山中湖が黒くふたつ並び、

湖周辺の街明かりもきれいに見えました。真夏の日曜日の夜だったせいか、川口湖畔では5ミリ程度の円ですが打ち上げ花火も見えました。遠くに目をやると正面は都留市、やや右側は東京方面の灯りが空に映って、気温2℃の中で2時間、飽きもせずに目を凝らしていました。

天候が安定していたのはここまでで、この後0時30分に山頂を目指していくうちに、風が強くなり小雨も混じるようになってしまいました。狛犬と鳥居をデジカメに収めましたが、雨粒が斜線で写っているのみで、その後はひどくなるばかり。山頂小屋で休憩し、お鉢巡りは中止として早々に下山の途に着きました。

よく山頂に笠雲がかかる映像を見ましたが、まさにその現象でした。九合目まで下ると雨が上がっていて、振り返ればスッポリと黒雲が頂を覆っていました。結局、山頂での御来光はなく火口を見る事もなく、山頂を確認できぬまま「また来ればいいか」と下山してしまったわけですが新型コロナ禍の今、富士山は閉山中です。天候には恵まれませんでしたが、あの時登っておいて良かったと思います。

明日の世の中がどうなるのか、分からなくなっています。他人に迷惑が掛かる事以外は、やっておいた方が良くないかもしれません。

ずいぶん長く思い出日記のように書いてしまいましたが、貴重な体験でした。機会があれば再チャレンジしたいと考えています。

# 龍の割石

須高地区

中澤 文 貴（末広電気株式会社）

新年あけましておめでとうございます。本年も宜しくお願い致します。

皆様は、昨年から話題になっている「鬼滅の刃」をご覧になりましたでしょうか。

「鬼滅の刃」とは、大正時代を舞台に主人公が鬼と化した妹を人間に戻す方法を探すために戦う姿を描く和風剣戟奇譚です。我が家では、アニメを見てから鬼滅の刃のファンになりました。そのため、家族で映画を観に行ったり単行本等を購入したりしています。

私が住んでいる須坂市にも、鬼滅の刃で話題になった場所があります。それは坂田山共生の森にある「龍の割石」です。「龍の割石」とは、作品の中で主人公の竈門炭治郎が修行中に斬った岩とよく似ていることより、ニュースで紹介され話題になった石です。



私は、須坂市に生まれ育ちましたが、ニュースで紹介されるまで須坂市にこのような石があるとは、知りませんでした。なので、散歩がてら家族と一緒に見に行ってきました。

「龍の割石」は、坂田山共生の森駐車場から山道を10分ほど歩いた場所にあります。山道の途中には作品に出てくる炭焼き小屋や<sup>うろこたきまきこんじ</sup>鱗滝左近次（竈門炭治郎の師匠）の家があり、「龍の割石」に行くまでも、鬼滅の刃の世界観を感じることができました。また休憩所では、北アルプスや北信五岳等の素晴らしい景色を眺めることができました。そして話題になった「龍の割石」は想像以上に大きく、石の真ん中には深く亀裂が入っており、作品の中に出てくる岩のようで驚きました。

「龍の割石」は市内で唯一、ふるさと信州風景100選に選ばれているため、須坂市にお越しの際は「龍の割石」へ、是非行かれてみてはいかがでしょうか。



龍の割石を斬る娘



ユーチューブ



長野東地区

月岡

匠（東和電設株式会社）

皆さん同じような状況だと想像しますが、ここ1年ほどは外食をしたり、家族と旅行に出かけることを控えて、家で過ごすことがとても増えました。そうすると我が家ではテレビやパソコンの前にいる時間が増えまして、必然的に「Wi-Fi環境の改善をお願いします」だとか「テレビでもインターネットを使いたいんだけど」という要望が私に寄せられます。電気に関することなら何でもできるってわけではないんだけど・・・と思いながらも、家族の期待に華麗にこたえるべく各所で機器を調達し、休みの日には配線・設定をするという、とても有意義な休日を過ごしています。

私自身もインターネットで情報を得ることは、日常生活の一部となっています。

YouTube を見ることはその最たるものかもしれません。ユーチューバーと呼ばれる人たちは、面白おかしく話をするだけでなく、その道の『プロ』が自分の持つスキルを余すことなく、そして惜しむことなく発信しています。そんな動画についつい夢中になってしまい、時間が過ぎるのを忘れて見入ってしまうこともしばしば。

そんな YouTube ですが、最近は電気工事はもちろん型枠大工や鉄筋工がスラブを組み上げる動画や この前見てビックリしたのが鉄鋼の電気溶接作業をする動画がありました。「関係者以外誰が見るのだろうか」と思いましたが、逆に考えれば新規入職者の人たちはもちろん、建設業関係者が他職を知るための情報が YouTube にはたくさん眠っています。

一昔前の感覚ならば授業料を払って学ぶか、『技術は現場で見て盗め』という厳しい洗礼がありました。今は YouTube 内に丁寧に教えてくれる人がたくさんいて、そしてその情報は基本無料で触れることができるのです。すごい時代になりましたね。私が最近参考にした動画は、パナソニック充電工具の使用感を解説するもので、購入する際に参考にしました。それと屋根・外壁塗装を解説する業者さんの動画を参考にして、会社屋上のウレタン防水工事を、去年の閑散期を利用して当社社員で施工しました。使用材料はもちろん、施工の段取りを含めて知らないことばかりなので YouTube 先生だけが頼りでしたが、何とか最後までやりきることができました。仕上がりに関してはプロのそれとは比べ物になりませんが、外からは見えない部分で機能に問題が無いので良しとします。それよりなにより、普通ならば自分でやろうと思ひもしないようなウレタン防水工事を一通りできたのは YouTube 先生のお陰です。私を含めて価値のある経験になりました。

こんな感じで自分自身のスキルアップのために活用するのはもちろんのこと、電気工事業界全体のイメージアップの一端を担うツールになったり、お客様との情報共有の架け橋になるのでは？と最近では思ったりします。これだけの価値ある情報が毎日のように、多くの人によって発信されて日々更新し続けられる理由もそこにあるのだと想像します。ちょっと真面目に仕事に関連することばかり書きましたが、皆さんを満足させてくれる動画がいくらでも見つかると思いますので、まだ YouTube をあまり使ったことが無い方はどうぞドブクリ浸かってみてください。

話は変わりますが、2018 年に有志により発足しました長野西・東地区研修会ですが、昨年研修会を行うべく株式会社旭電気商会の竹内様に音頭を取っていただいて計画を立て、実施する直前まで進めました。しかしながら緊急事態宣言が発出される状況下ではやはり困難であろうということで、中止することといたしました。色々な対策が取られるようになり、実施できる状況となりましたら計画を進めたいと思っております。どうぞよろしくお願ひします。



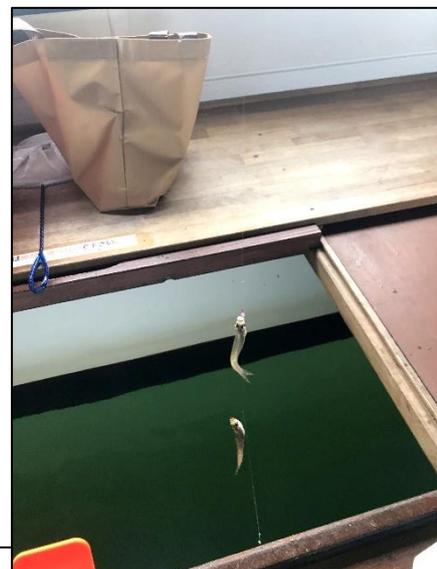
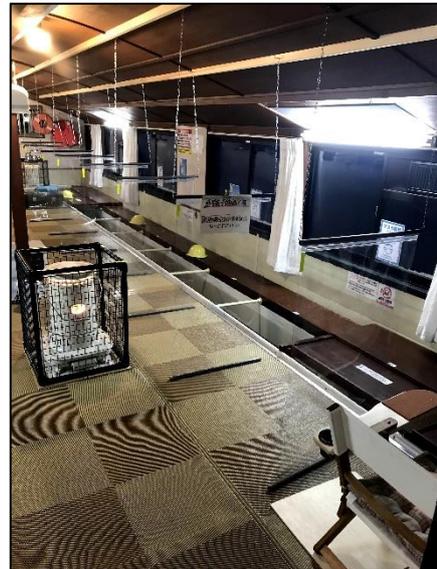
# 魚サギ 釣りの楽しみ方

長野西地区 林 純市  
(株式会社 町田電機商会)

会員の皆様、新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いたします。昨年は、新型コロナウイルス感染症が世界中の脅威となり終息が見えない状況の中、皆様もイベントを控え様々な対策や、自粛と新たな生活様式にて過ごした1年だったと思われま。

飲食・観光業は未だ厳しい状況にある中で様々な対策や工夫でお客様に新たなサービスを提供している所も沢山あり、なるほどと感心や応援したくなることがあります。私がハマっている『ワカサギ釣り』でも新型コロナ対策をしっかりと行い、お客様が安心して楽しめる努力とサービスを提供されています。今回は、野尻湖ほとり荘さんでの楽しみ方について紹介します。

ワカサギ釣りの一般的なイメージは氷上に穴を開けて釣る冬の風物詩的な感じかと思われますが、野尻湖では11月～3月までをシーズンとして屋形船で楽しめま。船長が魚群探知器で魚の反応を探しながら釣れる場所へ移動してくれま。水深が約20m～30m近くで釣りを行うためにワカサギ釣り専用の電動リールと竿(穂先)があると便利で。本格派は自作や自前の道具をもってきますが、船宿でも道具のレンタルや仕掛けなども購入できますので小さいクーラーボックスを持っていくだけで手軽に楽しめま。船内は、暖房設備があり、とても暖かく普段着でも大丈夫で。トイレやポットも完備されていて快適です。新型コロナ対策として乗船人員の制限や受付で検温やアルコール消毒を行い、船内は換気



設備や釣り座一つ一つに飛沫防止アクリル板のパーテーションで区切られていますので安心して楽しめるようになっていました。運転手じゃなければお酒を飲みながらもOK。

本格的に始めた野尻湖ワカサギは奥が深く釣果にも差が、名人300匹・素人30匹みたいな世界があります。誘って竿先(穂先)にでる小さなあたりを出して掛けることが釣り方の基本ですが状況にあった誘い方やパターンを湖底にいる魚のイメージや気持ちになって・・・ちょっとマニアックですね(笑)。自然相手、釣れたり釣れなかったりですが、私にとってはリラックスと全集中できる空間です。店の方も気さくでアットホームな感じですよ。たくさん釣ってもらいたい・楽しく釣りをしてもらいたい思いや創意工夫がここでも感じられます。興味を持っていただければ、是非、事前に予約をして行ってみたいは如何でしょうか。

最後に我々、業界の現場では日々訓練されている基本動作ならび一つのものづくりに対する連帯感や高い意識が新型コロナに対しても「感染しない・うつさない」状況を創り出していると信じています。私自身も経営者として皆様と共にこれからも安心安全で品の良いサービスを提供するために創意工夫をもって仕事に！遊びに！活かしたいと思います。



# コロナ禍の2021年正月

## 更埴地区 小林 学（株式会社 KDK）

2021年正月。とにかく静かでもの寂しい始まりとなった。

大晦日の朝は除雪で始まり、オ・スーノ(除雪機)の出番となった。コロナ禍での紅白もいまいち盛り上がりを感じられない。

例年だと、元旦には3世代で善光寺に初詣に行くのだが、今年は一人で行くことにした。自宅から歩いて、善光寺の北側入口から入る。朝9時にも拘わらず出会ったのは3人のみ。境内に入り本堂の西側を通り大勸進に向かうが、参拝者はまばら。読経を聞きながら参拝を行う。例年のごとく商売繁盛・無事故無災害・家内安全・健康祈願と盛り沢山の願いを、ポケットにあった小銭に託し参拝を行う。左目に“カーン”と入った達磨を購入した。その後、お線香の煙を全身に受け善光寺本殿にて参拝。ここでも小銭に託し、盛り沢山の願いを込めて丁寧に参拝を行う。例年のような規制もなく、大勸進同様に参拝した。

2日と3日は箱根駅伝をテレビ観戦した。10区の駒澤大学大逆転に目が釘付けとなり、自分が走っているような感覚に興奮した。若い頃2年ほど小田原に住んだことがあり、懐かしく箱根路の景色を楽しめた。

4日は駅前デパートでショッピングのお供。結構疲れるものだ。

5日は2011年の仕事始めて、例年のごとく篠ノ井にある長谷寺にて安全祈禱。ここでも三密を避けた安全祈願を行う。やはり参拝者がかなり少ないように見えた。新年早々から経審書類と工事積算に追われ、慌たらしい年の始まりとなっている。

8日。今年2度目のオ・スーノの出番。6時から除雪。雪が降るたびに太陽光発電設備の発電量が気になり、週間天気予報に一喜一憂する自分が虚しい。

11日は高校サッカー選手権の決勝。終始ボールを支配していた青森山田高校の間隙を縫って、2-2の同点としてPK戦に持ち込み、スター軍団青森山田高校に勝利した山梨学院高校の粘りに感激した。ゴール前の攻守には手に汗を握りのめり込んでしまう。延長戦の後の、PK戦でチームの勝敗を決める過酷な結果を、個人のひと蹴りで決まるという厳しさに心打たれた。無観客の決勝戦、選手も関係者も残念ではあったろうが、見応えのある好ゲームだった。

コロナ感染症の影響で、全てが自粛ムードの2021年。こんな年は最後にして欲しいと願う新年の始まりであった。



箱根駅伝 ● 2021  
2021.01.02 ~ 03 8:00 START



## 旅の思い出

更埴地区 渡邊 学  
(国際電設工業株式会社)



明けましておめでとうございます。

昨年は、中国湖北省武漢市を中心に発生した新型コロナウイルスによる第一波が2月頃から始まり、第二波、第三波と感染が拡大しております。今年に入り感染者も急激に増え全国で7,500人超、菅首相は1都3県に特措法に基づく緊急事態宣言を1月7日に発令しました。いろいろ制約がありますがここは皆が我慢する時ではないでしょうか。新型コロナウイルスのワクチンも開発さされ、アメリカ・ヨーロッパではワクチン接種が始まっています。日本でも2月

末から3月頃にはワクチン接種が出来ると言われていました。ワクチン接種により新型コロナウイルスの重症者が少なくなり、今までのような生活が戻れば良いと思います。

さて話は変わりますが、昨年仲間4人と10月24日から3泊4日の三陸鉄道リアス線と日本三大霊場・恐山、下北半島の旅に出掛けました。その時の思い出話を書きたいと思います。

**【1日目】** 長野駅より7時22分発の新幹線あさまで8時42分に大宮駅に到着し、東北新幹線、はやぶさに乗り換え盛岡駅11時55分に到着しました。盛岡駅周辺で軽く居酒屋風の所で昼食を取り、バス乗り場まで戻り急行バスで宮古駅前まで行きタクシーで、みやこ浄土ヶ浜遊覧船乗り場まで移動し乗船しました。2011年3月11日の東日本大震災では、この船着き場まで大津波に襲われ大きな被害がありました。幸いにも観光船は津波が来るという事で5隻が海に出ましたが1隻だけが無傷で残りました。その1隻で運行しているそうです。乗船し船が出港すると、どこからかウミネコの群れがやって来ます。餌用の「うみねこパン」を求めてすぐ近くまで飛んで来ます。餌のパンを投げると、とても上手に口ばしでキャッチします。又手で渡そうとすると手のすぐ近くまで来て餌を取っていきます。

そんな中船に揺れながら女性カイドさんの説明を聞き、潮吹穴からは波が寄せるのに合わせて潮が吹き上がります、又ローソク岩という高さ40m幅7mの奇岩など珍しい岩が沢山船上より見られました。1時間程の乗船でしたがとても楽しい遊覧でした。残念ですが、この遊覧船も乗客の減少、船の老朽化で今年1月に終了とのこと。今日はこの近くの浄土ヶ浜パークホテルで宿泊です。

**【2日目】** 宮古駅を出発し久慈駅までの三陸鉄道リアス線の旅です。三陸海岸はリアス式海岸で南から陸前(宮城)・陸中(岩手)・陸奥(青森)と区分された「陸」の文字がつく三つの地域の総称です。又一般的には、北は青森県八戸市から南は宮城県松島付近ま



## 旅の思い出

での 600 km程の海岸線を指します。NHK の朝ドラ「あまちゃん」でお馴染みの三陸鉄道、地形が入り組んでいる為トンネルが多く外の景色が余り見えませんでした。途中の駅などからは美しい海岸を見ることが出来ました。又運転手のご厚意で景色の良い所で停車してもらい、温かみのあるローカル線の旅でした。東日本大震災のつめ跡も余り見られず復旧の後がうかがわれます。途中田野畑駅で下車し三陸海岸を代表する景勝地「北山崎展望台」へ行き第一展望台から曇り空でしたが 2 百メートルの断崖の稜線を眺める事が出来ました。

帰りにお土産さんに寄り地元漁師が採ったワカメや昆布などを土産に買いタクシーで田野畑駅に戻り再度乗車し久慈駅に向かいます。12時33分に着き12時57分発のJR八戸線で八戸駅まで向かいます。車中では弁当を食べ、缶ビールを飲み、海岸の白波をのんびり見ながら車中談議です。14時42分に八戸駅に着き予約してあるレンタカーに乗り込み出発です。三沢航空自衛隊を通り、六ヶ所村を通り下北半島へ進み、むつ市に入ります。17時00分頃むつグランドホテルに到着。今日はここで宿泊です。

**【3日目】** ホテル8時30分に出発しレンタカーで霊場恐山、賽の河原へと向かいます。恐山は、高野山、比叡山と並ぶ日本三大霊山のひとつ、今からおよそ千二百年の昔慈覚大師円仁さまによって開かれた霊場です。地藏菩薩一体を自ら彫り、霊場の本尊とされました。この地は、宇曽利湖を中心に八峰がめぐり、その形あたかも花開く八葉の蓮華にたとえられます。また火山ガスの噴出する岩肌の一帯は地獄に、そして湖をとりまく白砂の浜は極楽になぞらえられ、信仰の祈りの場として伝えられてきました。

総門から入り歩いて行くと左側に本堂があり、前に進むと山門があり恐山と書いてある大きな額が見えます。山門を過ぎると、右側に木で造った湯殿があり、硫黄の匂いがする温泉がたっぷり入っていました。地藏殿の前まで行きお参りをし、賽の河原の方に入っていきます。途中、慈覚大師堂、八葉地藏菩薩・八角円堂・東日本大震災供養塔などを周り小さく石で積み上げた賽の河原(昔、賽の河原で小さな子供が親に会いたく





## 旅の思い出

て、石を積み上げている所に、鬼が来て蹴とばして壊していく、何度も同じことを繰り返す、見かねた水子地藏菩薩様が子供を救い上げて浄土に送った。)という昔話を思い出しました。石の回りには、赤い前掛けや、赤い風車が沢山置いてありました。「死ねばお山に行く」肉親の菩提を弔い、故人の面影を偲ぶ多くの人々が、今もお山を目指しているということです。

1時間程見学し、紅葉の山道を抜けながら本州最北端の岬、大間崎へ移動します。丁度、12時頃着いたので昼食という事で、是非とも大間のまぐろを食べようと皆で大間まぐろの刺身定食を注文しました。特別にサービスしてもらった一切れのまぐろの刺身は、中トロでとても美味しかったです。ここの漁師食堂は、以前寿司さんまいの社長が正月に、1億数千万円でまぐろを落札した漁師食堂だそうです。まぐろの一本釣り、大間を後にして仏ヶ浦展望台を見ながら一路八戸へ戻りました。今日の泊りはホテルメッツ八戸です。

**【4日目】** ホテル8時30分レンタカーで出発、天然記念物のウミネコ繁殖地、蕪島神社へ9時00分頃到着する。ウミネコの繁殖地という事で回りを見ても一羽もいません。神社の方に聞いてみると、2月から8月頃までで、5月の連休がピークだそうです。蕪島神社にて、八戸弁財天に金運アップをお願いし、神社では、株が上がりますようにと念じながら3回神社の周りを周り参拝しました。蕪島神社を後にして、途中八食センターに寄り、お土産などを買い、八戸駅で弁当を買い、13時07分発、新幹線はやぶさ24号で大宮駅に到着、乗り換えで新幹線あさま619号で長野駅へ向かい17時42分に到着、全員無事に家に着きました。

これで4日間の楽しい旅のお話はおしまいです。

今年も新型コロナウイルスが蔓延しております。1日も早く収束することを願いながら、皆様のご健康をお祈りいたします。



# With Corona コロナと生きる

中野・飯山地区 副地区長 村石 桂太郎

新年あけましておめでとうございます。豪雪地飯山は令和2年12月15日(火)から降り続いた雪が16日(水)夜には二日で70cmを超えました。その後19日(土)夜には1mを超え、25日(金)までには積雪が50cmまで減ったものの、年末年始にはまた結構降り続き1月11日(月)現在126cmになっています。

昨年度は地元の区長をしていましたが、昨年の冬はまれにみる<sup>かほつ</sup>霧雪で、2月になって積雪50cmを超えるくらいで大変楽をさせていただきました。しかし今年はその反動で大雪になり、消えない無散水道路の対応で機械除雪を3回お願いしたり、その交通整理をしたりと年末年始、区長の仕事をめいっぱいやらせていただきました。

さて、中野飯山地区の活動報告させていただきます。2020年4月7日に7都道府県に緊急事態宣言が出され、4月16日に対象を全国に拡大した時期の令和2年4月13日、中野・飯山地区定期総会を開催し、令和2年度の地区の事業が始まりました。その後5月18日に測定器等の校正試験、6月15日に防具・保護具の耐圧試験を行い

中野・飯山地区 玉木 新二(有限会社 テック)

新型コロナウイルス感染症で、趣味の旅行がいけなくなり、非常に寂しくしています。その中で、三密を避けてゴルフに楽しんでいます。正月には、どこにも行けないので、群馬県方面の下仁田カントリークラブと次の日は、甘楽カントリークラブに行つて来ました。長野県とは全く違い雪はなく、天気が高く最高のゴルフができました。スコアはあまり良くなかったのですが、皆様と楽しくプレーができました。ストレス解消には、自然の空気と太陽に浴びて体を動かすことが大切だなと痛感しました。

新型コロナウイルスがいつ収まるかがわからない中、生活形態が変わってきています。写真は最近ゴルフに行つてきました、高梨クラブです。芝は枯れていますが、グリーンは凍結していません。とてもいいです。

感染に気を付け感染予防を忘れず、新型コロナウイルスに負けないよう皆様がんばりましょう。



ました。7月3日に定例会を行いました。その中で中部電力インターネット申し込みシステムの再教育が開かれました。各社の担当者まで呼んで講習をしたわけですが、非常にたくさんの質問が出ました。各社、中部電力のシステム変更に理解が追いついてなく、普段から疑問を持って申し込みをしている事がわかりました。

8月の電気使用安全月間の中で、長野支部の中でも1地区だけ続いていた「一人暮らしのお年寄り宅の配線診断」も実施することが出来なく、中止としました。昭和58年頃から約40年にわたるボランティアの歴史も、このコロナ禍で終わってしまいました。来年からは何か違う事業を見つけなくてはいけないことになってしまいました。11月17日に安全大会を行い、11月27日に防具・保護具の耐圧試験行い年末年始を迎えました。

令和3年1月7日に1都3県に緊急事態宣言が再発令されました。昨年春の緊急事態宣言と違い、一時期は全国で毎日7,000名以上の感染者が出ている中、このまま何もせず令和2年度中野・飯山地区の事業が終わってしまいそうで心配しています。令和3年コロナが終息し、今までの生活が戻ってきて、希望に満ちた明るい年となることを願います。

長野東地区 山口 忠幸  
(株式会社 山口電気)



- ・ 人との間隔は、できるだけ2mは離れる。
  - ・ 会話をしている際は、可能な限り真正面を避ける。
  - ・ 外出時や屋内でも会話をすると、人との間隔が十分にとれない場合は症状がなくてもマスクを着用する。ただし、夏場は熱中症に十分注意する。
  - ・ 家に帰ったらまず手や顔を洗う。
  - ・ 人混みの多い場所に行った後は、できるだけすぐ着替え、シャワーを浴びる。もしくは風呂に入る。
  - ・ 手洗いは三十秒程度かけて水と石鹸で丁寧に洗う。手指消毒薬の使用も可。
- など今や、生活の新常識、新生活様式と言えるでしょう。皆さんも、できるだけ「三密」を避け、新型コロナウイルス感染拡大防止を心がけて、お過ごし下さい。

新型コロナウイルスが世界中に猛威を振るった昨年、というより今現在でも終息が見えない状態が続いています。外出自粛要請や緊急事態宣言、新しい生活様式の推奨など、感染拡大防止の為に、対策を一人一人が真剣に取り組むべきだと考えられます。

## 今年目標

小林 巨樹  
仕事と料理の  
レパートリーを増やす

山本 晴美  
ネコになりたい 

岸部喜代子  
抱っこできて、よく懐いて、私より長生きできる  
ペットを探す

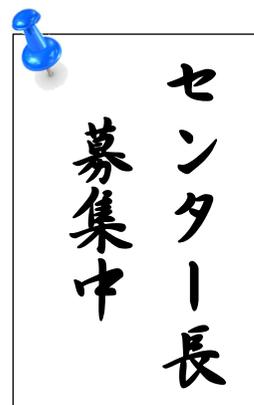
桑原亜希子  
全力前進 腹八分目

倉島 紀子  
減量しかない 



( 岸部 喜代子 )

長野電気引込工事センター  
TEL 026-234-6658



長野県電設業協会  
長野県電設業協会長野支部  
長野市電設業協会  
(株)電気会館  
TEL 026-234-3528

( 山本 晴美 )



New Face  
7月に着任しました

長野県電気工事業工業組合  
電気組青年部会  
TEL 026-232-4675



( 桑原 亜希子 )

( 事務局長 こばやし 小林 なおき 巨樹 )



いつも  
ありがとうございます  
ございませ  
んし、今年が  
しあわせに  
満ちあふれ  
ますように

電気工事業工業組合長野支部  
長野西地区・長野東地区  
(長野電気引込工事センター)  
TEL 026-235-4075

( 倉嶋 紀子 )



株式会社 長野県電気工事協力会は  
2018年6月に柳町ビルへ移転しました



## 編集後記

支部通信第79号発行にあたりご協力いただきました会員様には心より感謝申し上げます。

昨年より続く新型コロナウイルス感染症の影響でほぼ全ての支部行事の中止・延期・変更となり緊急事態下の中での生活がいかに大変かと実感した一年でした。まだ緊張する日々が続きますが、頑張りましょう。

支部通信は昭和59年8月に記念すべき第1号を発行してから今年で第79号の発行を迎えました。大変歴史のある業界誌だと感じます。今まで各支部の活動報告・技能オリンピック報告・その他で大変意義のある投稿でしたが、今回第79号は全て投稿者のフリートーク内容としました。型にはまった事も大事ですが、時には束縛されない自由な時も大切かと思えます。投稿を通じそして読者として何か新しい一面を発見していただければ幸いです。

まだまだ先の見えない大変な日々が続きますが、今年一年皆様にとって良き一年になりますように、心からお祈りを申し上げます。

 総務委員長 町田 幸司



### 編集

|        |       |      |          |
|--------|-------|------|----------|
| 担当副支部長 | 伊藤 善宣 | 総務委員 | 日極 量博    |
| 総務委員長  | 町田 幸司 |      | 村石桂太郎    |
| 総務副委員長 | 久保田貴律 |      | (事務局 倉嶋) |

もっと便利で快適な暮らしに

アイセグ

AISEG2



お客様にご満足いただける  
より安心安全な環境づくりをお手伝いします  
本年もよろしくお願い申し上げます



ながの電材会

大沢電機株式会社

昭和電機産業株式会社

株式会社デンセン

株式会社ニッセー電機

(五十音順)